

製品名: アセチル-p53 (Lys382) (3E3) マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM00773

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | IHC |
| 反応性 | ヒト、ラット、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | アセチル化 |
| アイソタイプ | IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|----------------|
| 希釈倍率 | IHC 1:50-1:100 |
| 分子量 | - |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | TP53 |
| 別名 | Cellular tumor antigen p53; Cys 51 stop; Tp53; Tumor protein p53 |
| 遺伝子 ID | 7157 |
| SwissProt ID | P04637 |
| 免疫原 | 標的タンパク質の残基に対応する合成アセチル化ペプチド |

背景

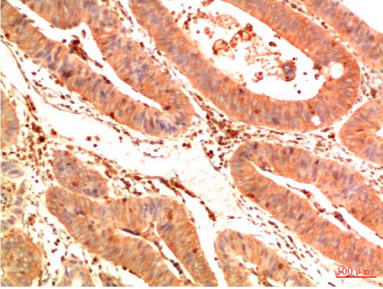
核タンパク質である腫瘍タンパク質 p53 は、細胞周期の制御、特に G0 期から G1 期への移行において重要な役割を果たします。正常細胞では非常に低濃度で存在しますが、様々な形質転換細胞株では高発現しており、形質転換および悪性化に寄与すると考えられて

います。p53 はDNA 結合タンパク質であり、DNA 結合、オリゴマー形成、および転写活性化ドメインを有します。

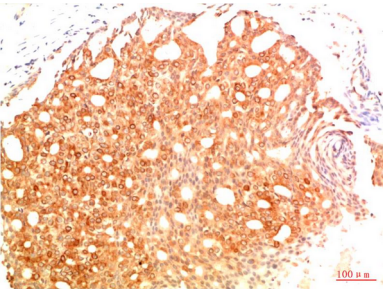
研究分野

細胞生物学

画像データ



アセチル p53 (Lys382) (3E3) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



アセチル p53 (Lys382) (3E3) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。